

○ドッジボール投げ（1年生～6年生・特別支援学校及び学級）

(1)種目の概要

新体力テストや体育科学習の「ゲーム」「ボール運動」の単元などに関連付けながら、学級全員による「ボール投げ（投力）」の記録への挑戦や達成の喜びを味わわせるために、学級全員が測った記録の合計から学級の平均距離を求め、その記録を競い合う。

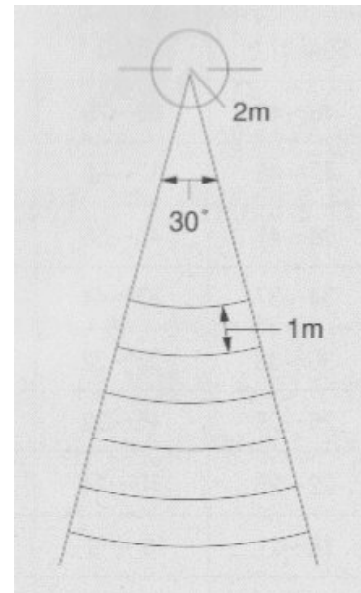
(2)場づくりと用具

コート

平坦な地面上に直径2 mの円を描き、円の中心から投球方向に向かって、中心角30度になるように直線を引き、その間に同心円弧を1 m間隔に描く（右図参照）。

ボール

- ・ドッジボールの場合
 - 低学年は1号球
 - 中学年は2号球
 - 高学年は2号球又は3号球
- ・ライトドッジの場合
 - 低学年は1号球
 - 中学年、高学年は2号球



(3)実施方法

投球は地面に描かれた円内から行う。

投球中または投球後、円を踏んだり越したりして円外に出てはならない。

投げ終わったときは、静止してから、円外に出る。

(4)記録及び登録

ボールが落下した地点までの距離を、あらかじめ1 m間隔に描かれた円弧によって計測する。

記録はメートル単位とし、メートル未満は切り捨てる。

登録は、学級の平均距離とする。

学級の平均距離を算出する際は、計算上で1 / 10 mは切り捨て、1の位までとする。

(5)実施上の留意点

記録挑戦（公認）の際は、教師立会いのもとで実施し、計測は教師が行う。

実施前には十分に準備運動を行う。